

## 平成19年度 新丸子こども文化センターの管理運営に対する評価について

### 1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	新丸子こども文化センターの管理運営に関すること 上丸子小学校・西丸子小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

### 2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	施設利用団体との調整会を年度初めにを行い、日程調整や施設に対するニーズを把握しました。こども文化センターとわくわくプラザに「意見箱」を設定しました。こども文化センターとわくわくプラザで子ども会議の開催し意見の収集をしました。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供すること	幼児連れの来館者へ幼児向けの情報提供を行いました。地域の施設（丸子多摩川老人いこいの家）の方々との交流の場として、こども文化センターの利用を広報しました。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていました。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、1つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。

事業の実施に関するこ と	学年や年齢にとらわれず、楽しめる行事内容を企画し実施しました。運営協議会や地域教育会議と共に地域の特性を活かした行事の企画をしました。また幼児向けの本の読み聞かせを5月から四半期ごとに行う企画し実施しました。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後も、ボランティアの活用に努めること。
個人情報の取扱に関するこ と	財団法人かわさき市民活動センター個人情報保護方針に基づき取り扱いました。館内にあるパソコンはパスワードで管理し、入館状況調査表には個人情報の取り扱いに関する事項を記載しています。わくわくプラザでは個人情報は鍵のかかる所で保管しました。わくわくプラザの一斉受付時には、財団法人かわさき市民活動センター個人情報保護方針を掲示しています。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関するこ と	職員1人ひとりが安全確保について自覚を持ち、日常的な施設点検と安全確保を行いました。施設点検において修繕の必要な箇所は早急に対応し、安全確保のため、ガラスの飛散防止フィルムでの保護強化を行いました。わくわくプラザでは、学校と連携し遊具の点検や定期的な消防訓練を行いました。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 14,339人 延べ団体利用数 3,036団体 (主な行事等) パソコン こどもまつり  (特色のある行事) バルーン&ビンゴの会	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 上丸子小学校わくわくプラザ 登録者数 213人 延べ利用者数 15,255人 (主な行事等) オリジナルおやつ 新入生歓迎ゲーム大会  (特色のある行事) 祝！60周年記念ゲーム大会  2 西丸子小学校わくわくプラザ 登録者数 271人 延べ利用者数 13,125人 (主な行事等) けん玉 駄菓子屋さんごっこ  (特色のある行事) 等々力で遊ぼう	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況		評価及び指導																			
(3) 収支状況																						
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tbody> <tr> <td>収入 指定管理料</td> <td>43,264,100</td> </tr> <tr> <td>支出 人件費</td> <td>37,687,037</td> </tr> <tr> <td>  管理費</td> <td>2,302,144</td> </tr> <tr> <td>  事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td>  その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>44,949,015</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>▲ 1,684,915</td> </tr> </tbody> </table>	収入 指定管理料	43,264,100	支出 人件費	37,687,037	管理費	2,302,144	事務経費	1,937,847	その他経費	1,436,042	青少年事業資産取得支出	909,090	減価償却引当資産取得支出	40,492	第1回精算に伴う返納金	636,363	合計	44,949,015	差引	▲ 1,684,915	単館では支出が上回ったが、55館全体での指定管理料内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。
収入 指定管理料	43,264,100																					
支出 人件費	37,687,037																					
管理費	2,302,144																					
事務経費	1,937,847																					
その他経費	1,436,042																					
青少年事業資産取得支出	909,090																					
減価償却引当資産取得支出	40,492																					
第1回精算に伴う返納金	636,363																					
合計	44,949,015																					
差引	▲ 1,684,915																					

### 3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

### 4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。